

吸入服薬情報提供書（オンプレス・シーブリ・ウルティプロ・アテキュー プリーズヘラー用）

(手技確認における8つのポイント※)

- ①デバイス保持(垂直)
- ②カウンター指差し確認
- ③通気口の位置確認
- ④ボタン・レバー・カバー操作は最後まで
しっかり行き指を離す
- ⑤口角を閉じる
- ⑥吸い方(できるだけ深く:掃除機のように)
- ⑦息止め(指折り5つ)
- ⑧うがいは必ず行う(ガラガラ、ブクブク各3回)

※(一社)吸入療法アカデミー方式



・吸収により吸収量の四分の一を超える可能性があるため、誤ってカプセルを2個出してしまった場合はそのカプセルは破棄してください

《吸入映像》※1 (毎日の操作)



(注意点)



(約1分50秒)

(約1分)

*あなたのウイークポイントにチェック図していますので参考にしてください。

セット後は、吸入器を傾けると薬剤がこぼれることがあるので振ったり、逆さにしない		ポイント
① 薬剤の準備	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 薬剤セット時の操作は吸入器を垂直に持ち行う <input type="checkbox"/> キャップを外し、吸入口を開ける (A) <input type="checkbox"/> アルミシートから取り出したカプセルを充填部(穴)へ入れる (B) <input type="checkbox"/> 吸入口をカチッと音がするまで閉じる (C) <input type="checkbox"/> 両側のボタンをカチッと音がするまで同時に押し、ボタンを離す(カプセルに穴があく) (D) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボタンを何回も押すと、カプセルが破損して正しく吸えない ・ボタンを押したまま吸わない
② 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> ・息吐きと吸入をそれぞれしっかりとするために、息吐き後一旦息を止め吸入する 	呼気量=吸気量
③ 吸入	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 無理のない程度に息を吐き一旦止める (吸入口には息を吹きかけない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・息吐きをしないとしっかり吸えない
④ 息止め	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 吸入口をくわえ、口角を閉じ、できるだけ深く、最後まで息を吸い込む (カラカラとカプセルの震える音が聞こえる) (通気口をふさがない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・息がもれないように口角を閉じる ・掃除機でかき集めるイメージで吸う ・強く吸い込みすぎるとカラカラ音が聞こえないことがある
⑤ 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> ・深くとは「長く吸う」と解釈する ・音が聞こえず振動を感じない場合は、吸入速度が速すぎる、遅すぎる場合がある 	
繰返し		
⑥ 後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 吸入口を開け、カプセル内に粉末が残っていないか確認し、手に触れずカプセルを捨てる <input type="checkbox"/> 吸入口を閉じた後、キャップをしっかりと閉じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップを閉じる前に吸入口を拭く
⑦ うがい	<ul style="list-style-type: none"> 本剤が目に入ると、抗コリン作用により視覚障害等の症状が発現する可能性があるため、吸入後のカプセルは手に取らず、直接ゴミ箱に捨てる 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 吸入後はガラガラうがい、ブクブクうがいを各3回ずつ行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す

企画)より著者の許可を得て使用

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嘔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする
それ以外の吸入薬も統一化を図るために、うがいを行うようにする

保険調剤薬局名(薬剤師名) : _____ 印 _____ 年 _____ 月 _____ 日